

- また、今回の建替計画は建築家を含む地権者の方々のコラボレートも行われ、江戸川APがそうであったように「風の道」や「つなぎ空間としての屋上」はこの結果生まれたものである。



センターコート 「風の道」



屋上庭園 プリッジにて各棟をつなぐ回遊性を持つ緑地空間



更に共用施設においても江戸川APと同様に、事業主の理解により新たな住民も加わったコミュニティを育む共用施設として社交室・ラウンジ・アトリエ等を創り出している。



社交室



ラウンジ



アトリエ

そして最後に(同潤会)江戸川アパートメントの保存については種々の事情で叶わなかったが、アルテコ調の面格子・ステンドグラス・造作家具を共用施設に活用し、学会が実測した資料を基に、「10階段」も部分的ではあるがアトリエにて再現し、(同潤会)江戸川アパートメントの記憶の手掛かりとした。



「同潤会江戸川アパートメント」で使用されていた家具を移設してある応接室。



面格子



ステンドグラス